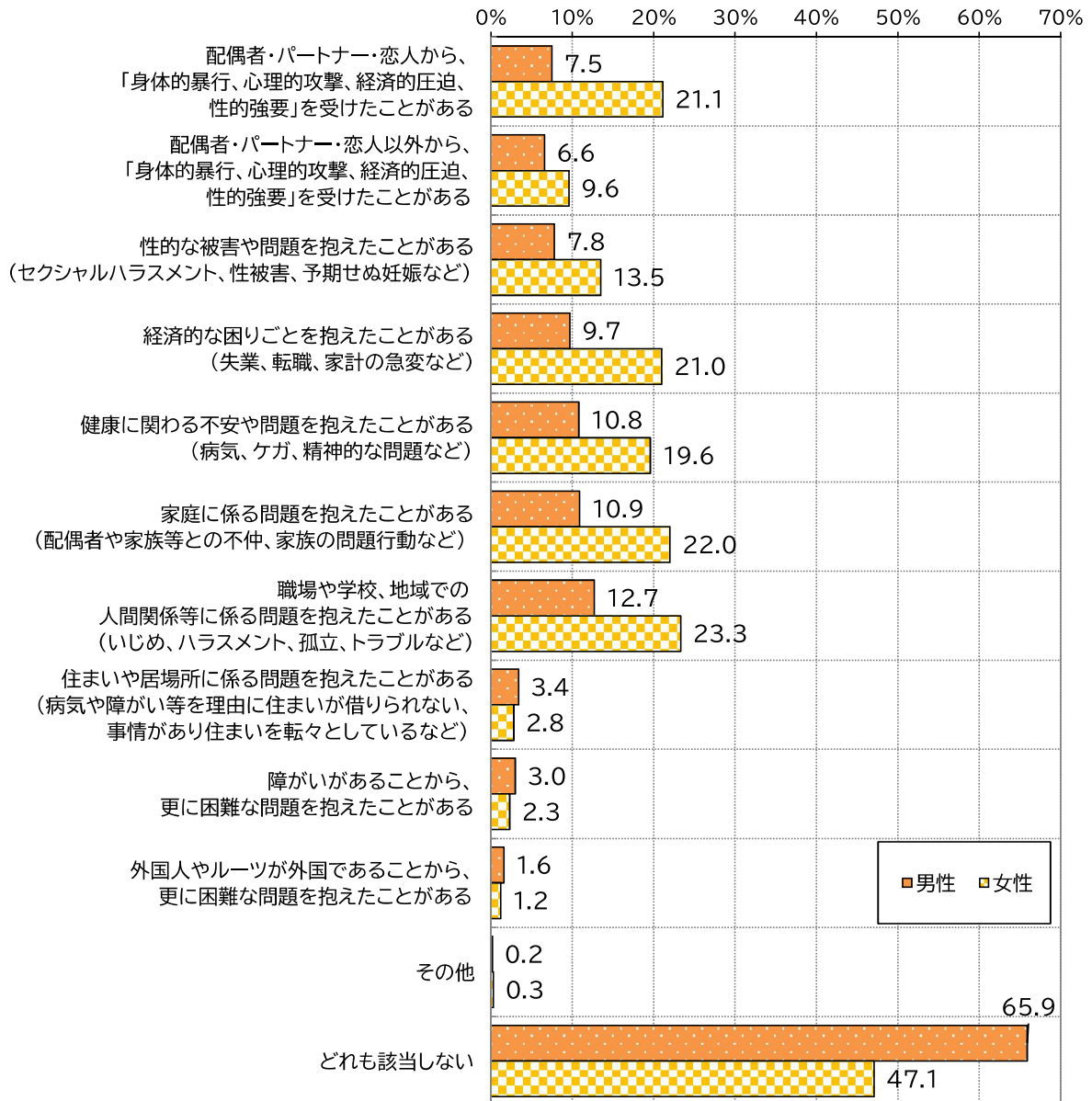


3. 困難な問題を抱える女性への支援について

(1) 女性であることを理由とした困難な問題を経験したり、見聞きしたりした経験の有無（問6）

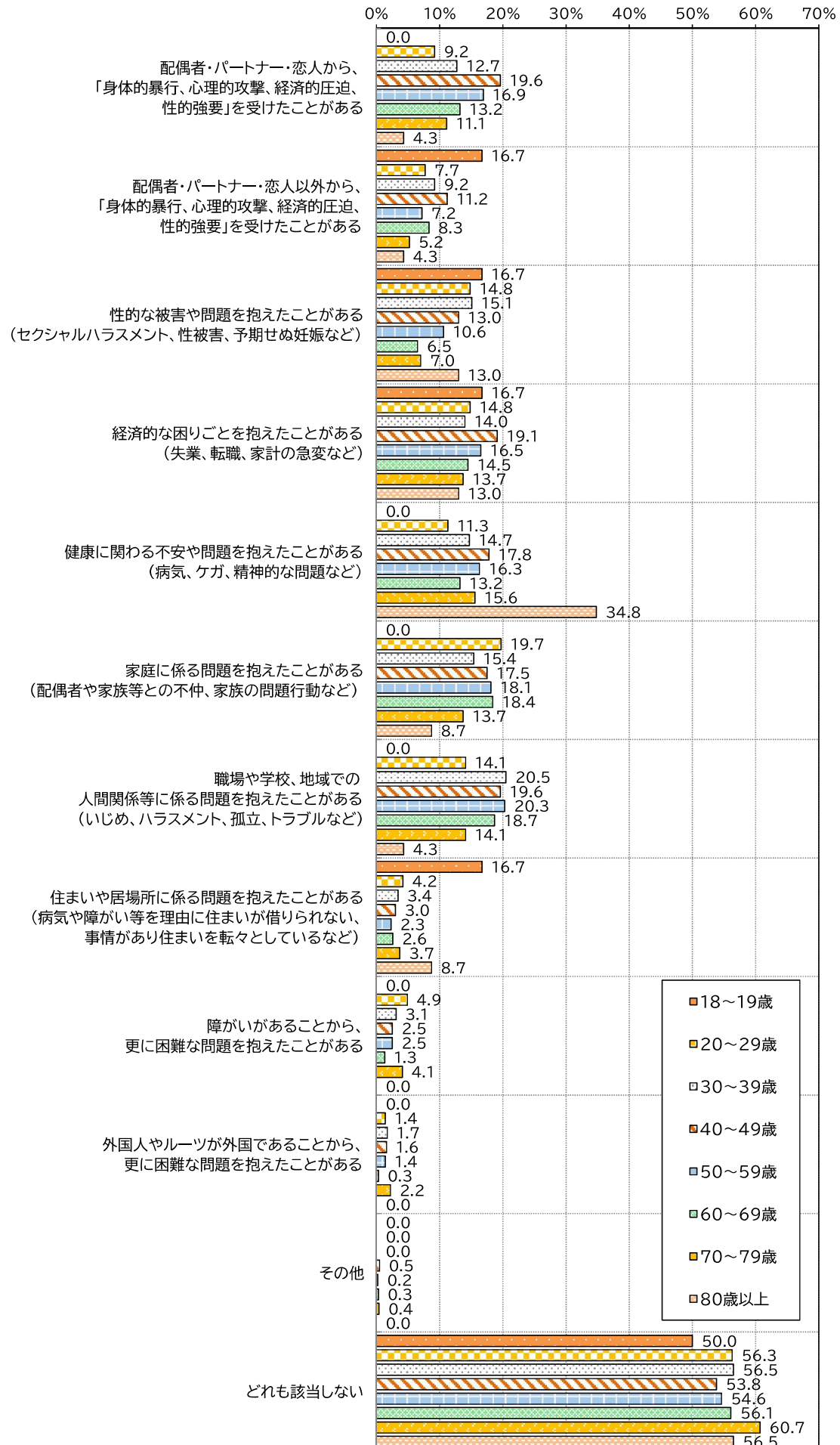
問6 あなたはこれまでに、あなた自身、もしくは身近な女性で、女性であることを理由として以下のような困難な問題を経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。当てはまるものすべて選んでください。

図表6-1 女性であることを理由とした困難な問題を経験したり、見聞きしたりした経験の有無（性別）（N=男性 939 女性 1,039）



女性であることを理由とした困難な問題を経験したり、見聞きしたりした内容の多い順に、男性・女性ともに「どれも該当しない」（男性 65.9%、女性 47.1%）と回答した者の割合が最も高く、次いで、男性・女性ともに「職場や学校、地域での人間関係等に係る問題を抱えたことがある」（男性 12.7%、女性 23.3%）と回答した者の割合が高くなっている。

図表6-2 女性であることを理由とした困難な問題を経験したり、見聞きしたりした経験の有無
(N=2,000) (年代別)



女性であることを理由とした困難な問題を経験したり、見聞きしたりした内容の年代別は、いずれの年代も「どれも該当しない」と回答した者の割合が最も高く、次いで、30～60 歳代は「職場や学校、地域での人間関係等に係る問題を抱えたことがある」、20 歳代は「家庭に係る問題を抱えたことがある」（19.7%）、70 歳代以上は「健康に関わる不安や問題を抱えたことがある」がそれぞれ高くなっている。

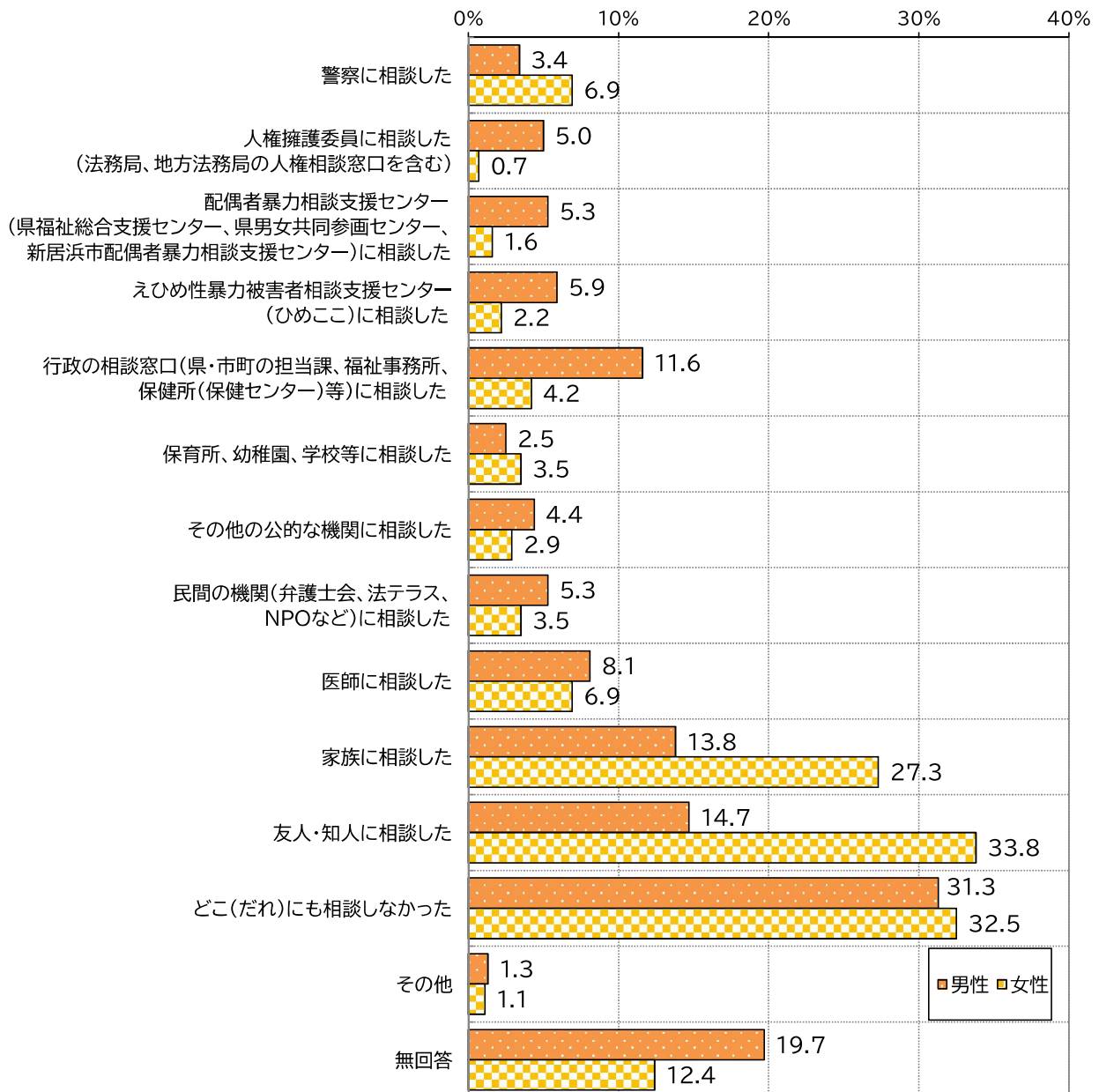
(2) 女性であることを理由とした困難な問題をだれかに打ち明けたり、相談したりしたか（問7）

※問6のうち、あなた自身の経験として一つでも該当するとお答えになった方は問7へお進みください。

問7（問6のうち、あなた自身の経験として一つでも該当するとお答えになった方にお聞きします。

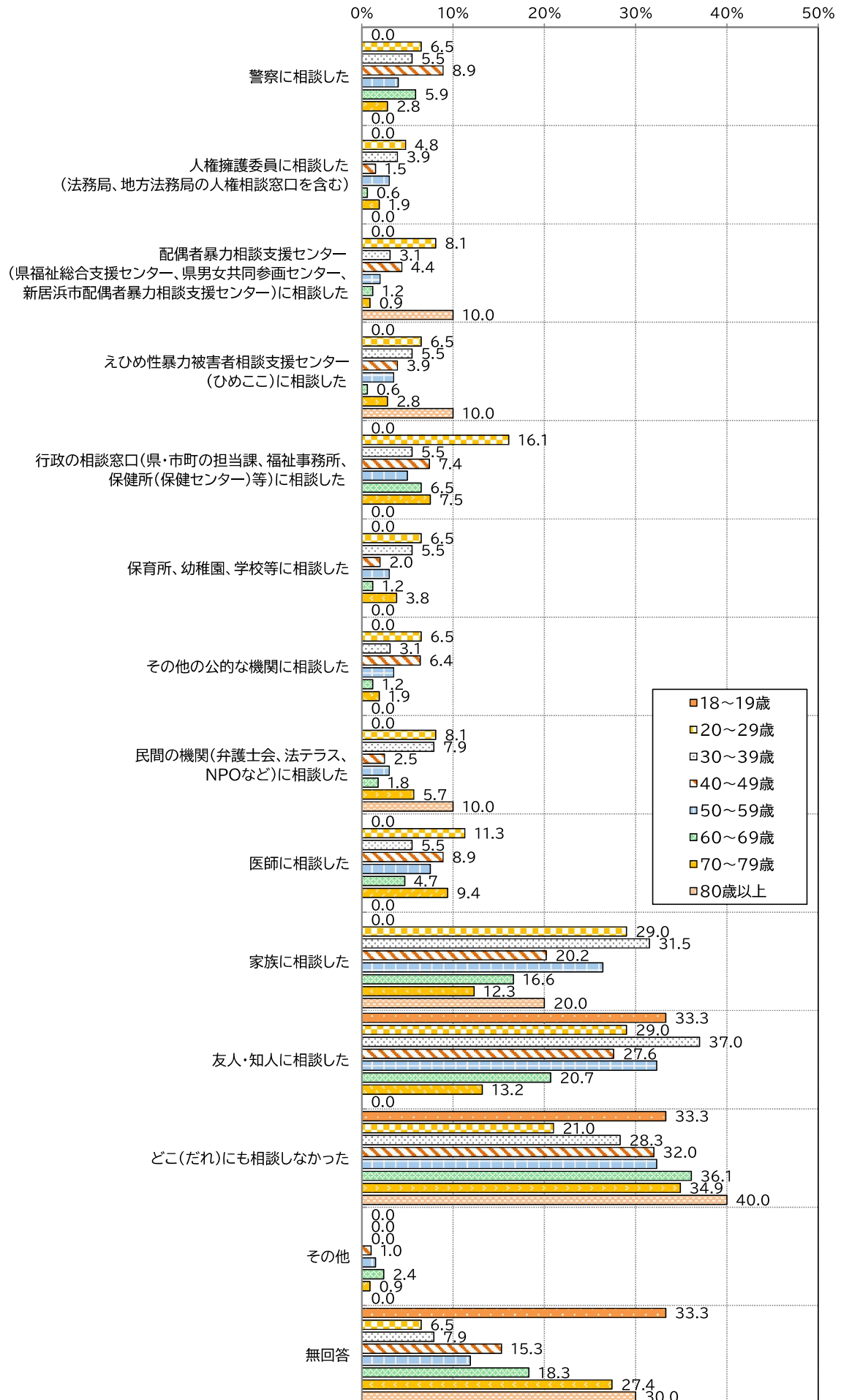
※あなたが見聞きした問題の場合には、回答不要です。）あなたは、これまでに、問6のような問題について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。当てはまるものすべて選んでください。

図表7-1 女性であることを理由とした困難な問題をだれかに打ち明けたり、相談したりしたか（性別）（N=男性 320 女性 550）



女性であることを理由とした困難な問題を経験したり、見聞きしたことをだれかに打ち明けたり相談したりしたかについては、性別でみると、男性は「どこ(だれ)にも相談しなかった」(31.3%)と回答した者の割合が最も高く、次いで、「友人・知人に相談した」(14.7%)、「家族に相談した」(13.8%)、「行政の相談窓口相談した」(11.6%)の順になっており、女性は「友人・知人に相談した」(33.8%)と回答した者の割合が最も高く、次いで、「どこ(だれ)にも相談しなかった」(32.5%)、「家族に相談した」(27.3%)、「警察に相談した」「医師に相談した」(同率で6.9%)の順になっている。

図表7-2 女性であることを理由とした困難な問題をだれかに打ち明けたり、相談したりしたか
(N=881) (年代別)



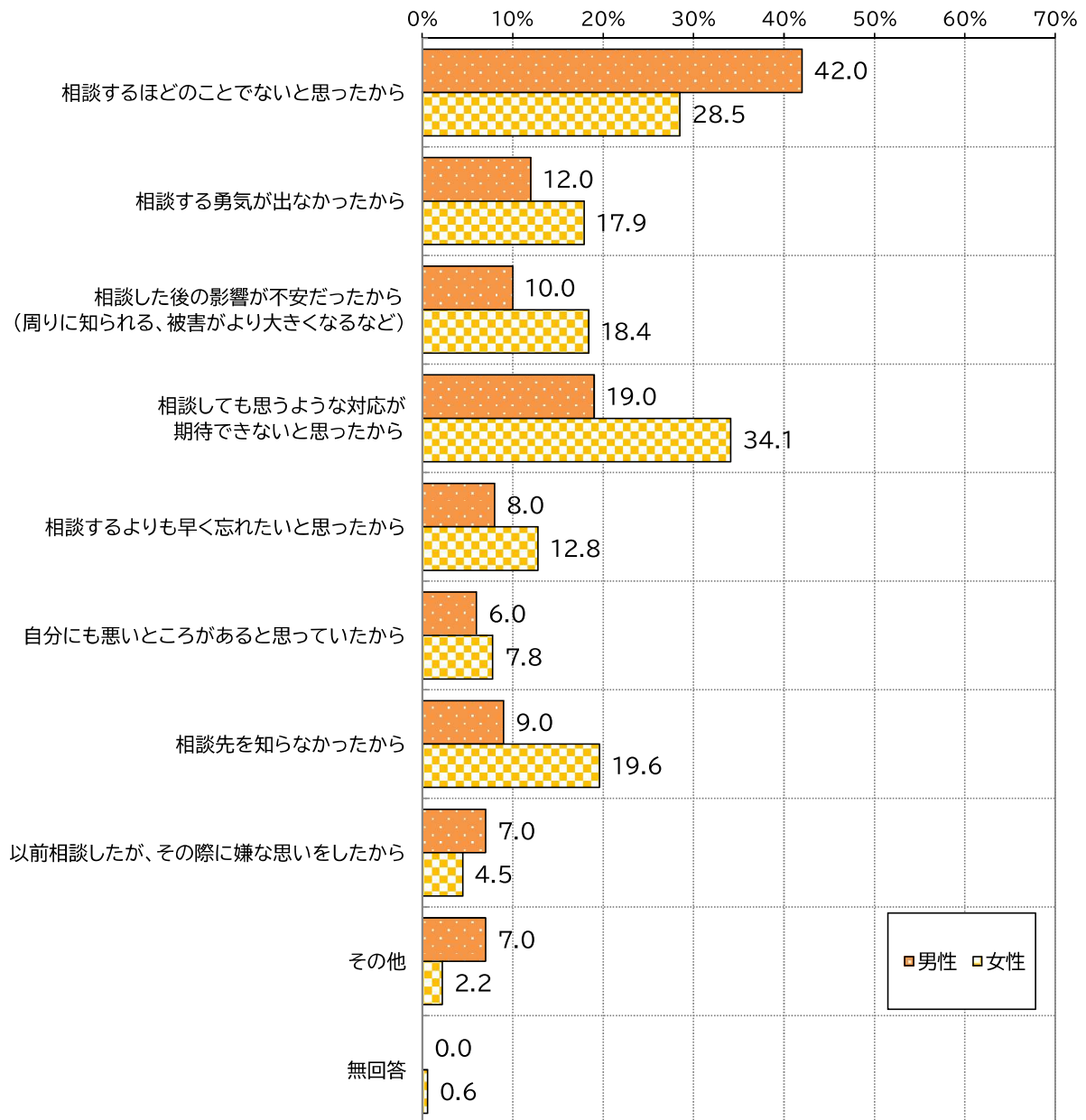
年代別でみると、20 歳代は「家族に相談した」「友人・知人に相談した」（同率で 29.0%）と回答した者の割合が最も高く、30 歳代は「友人・知人に相談した」（37.0%）50 歳代は「友人・知人に相談した」、「どこにも相談しなかった」（同率で 32.3%）、40 歳代、60 歳代、70 歳代、80 歳以上は、「どこ（だれ）にも相談しなかった」がそれぞれ高くなっている。

(3) 女性であることを理由とした困難な問題をだれかに打ち明けたり、相談しなかった理由(問8)

※問7のうち、あなた自身の経験として「12 どこ(だれ)にも相談しなかった」とお答えになった方にお聞きします。

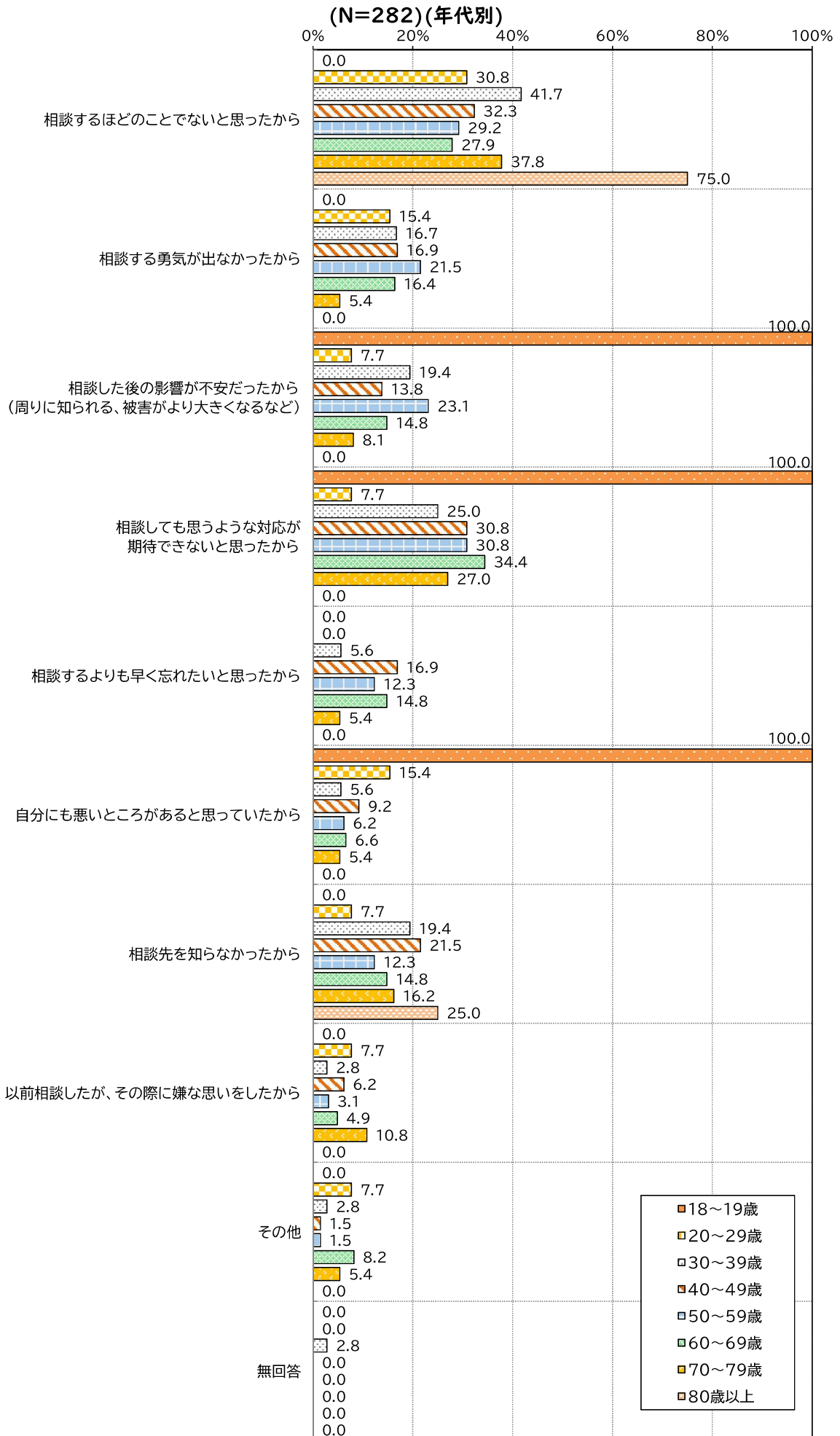
問8 相談しなかった理由について、当てはまるものすべて選んでください。※あなたが見聞きした問題の場合には、回答不要です。

図表8-1 女性であることを理由とした困難な問題をだれかに打ち明けたり、相談しなかった理由(性別) (N=男性 100 女性 179)



女性であることを理由とした困難な問題を経験したり、見聞きしたことをだれかに打ち明けたり相談しなかった理由については、性別でみると、男性は「相談するほどのことでないと思ったから」(42.0%)と回答した者の割合が最も高く、次いで、「相談しても思うような対応が期待できないと思ったから」(19.0%)、「相談する勇気が出なかったから」(12.0%)の順になっており、女性は「相談しても思うような対応が期待できないと思ったから」(34.1%)と回答した者の割合が最も高く、次いで、「相談するほどのことでないと思ったから」(28.5%)、「相談先を知らなかったから」(19.6%)の順になっている。

図表8-2 女性であることを理由とした困難な問題をだれかに打ち明けたり、相談しなかった理由

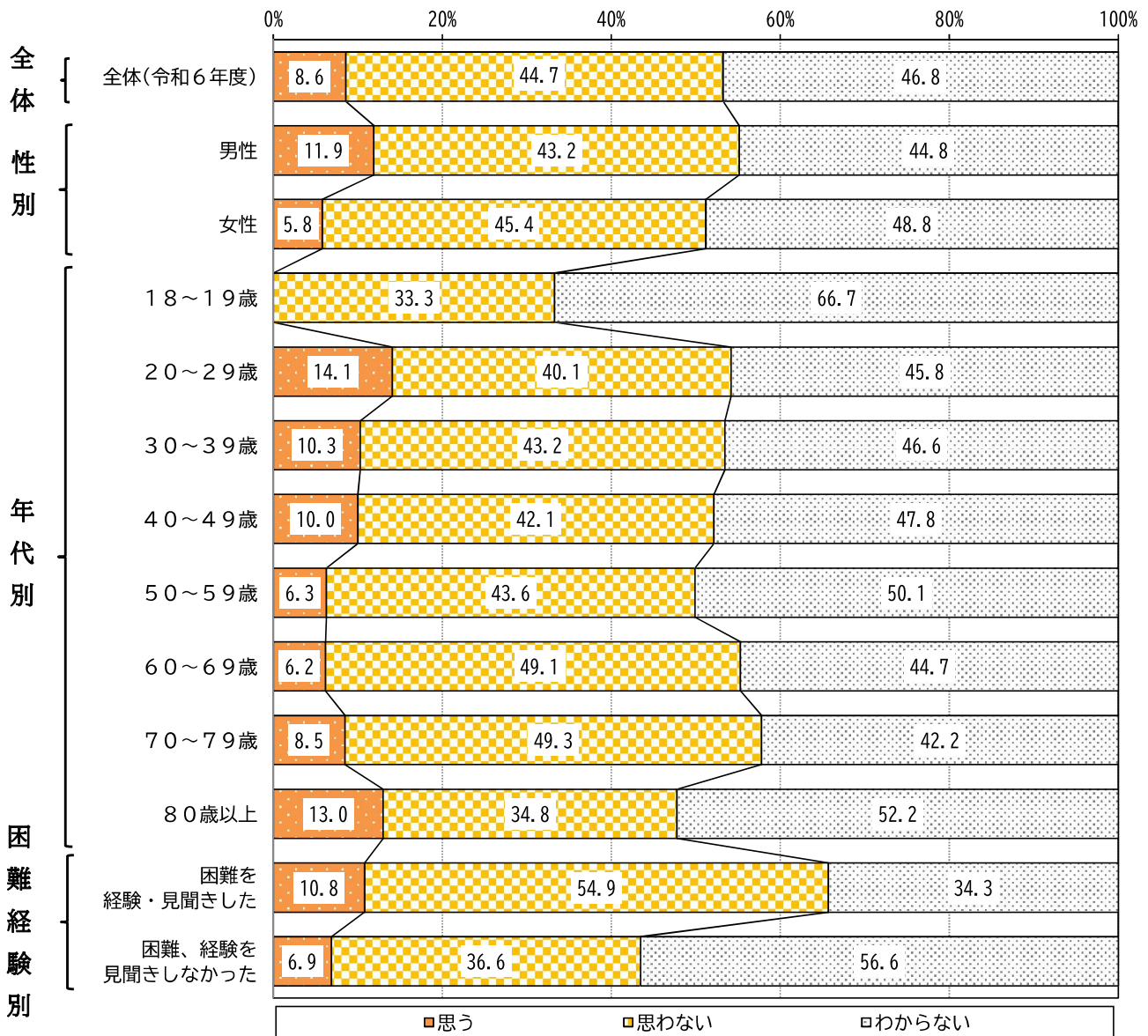


年代別でみると、20～40 歳代、70 歳代、80 歳以上は「相談するほどのことでないと思ったから」と回答した者の割合が最も高く、50～60 歳代は「相談しても思うような対応が期待できないと思ったから」が最も高くなっている。

(4) 女性であることを理由とした困難な問題を抱える女性の相談支援体制は整備されていると思うか（問9）

問9 問6のような困難な問題を抱えている女性の相談支援体制について、整備されていると思いますか。次の中から一つ選んでください。

図表9 女性であることを理由とした困難な問題を抱える女性の相談支援体制は整備されていると思うか（N=2,000）（全体・性別・年代別・困難経験別）



女性であることを理由とした困難な問題を抱える女性の相談支援体制は整備されていると思うかについては、全体では、「わからない」（46.8％）と回答した者の割合が最も高く、次いで、「思わない」（44.7％）、「思う」（8.6％）の順になっている。

性別でみると、男性・女性ともは「わからない」と回答した者の割合が最も高くなっている。

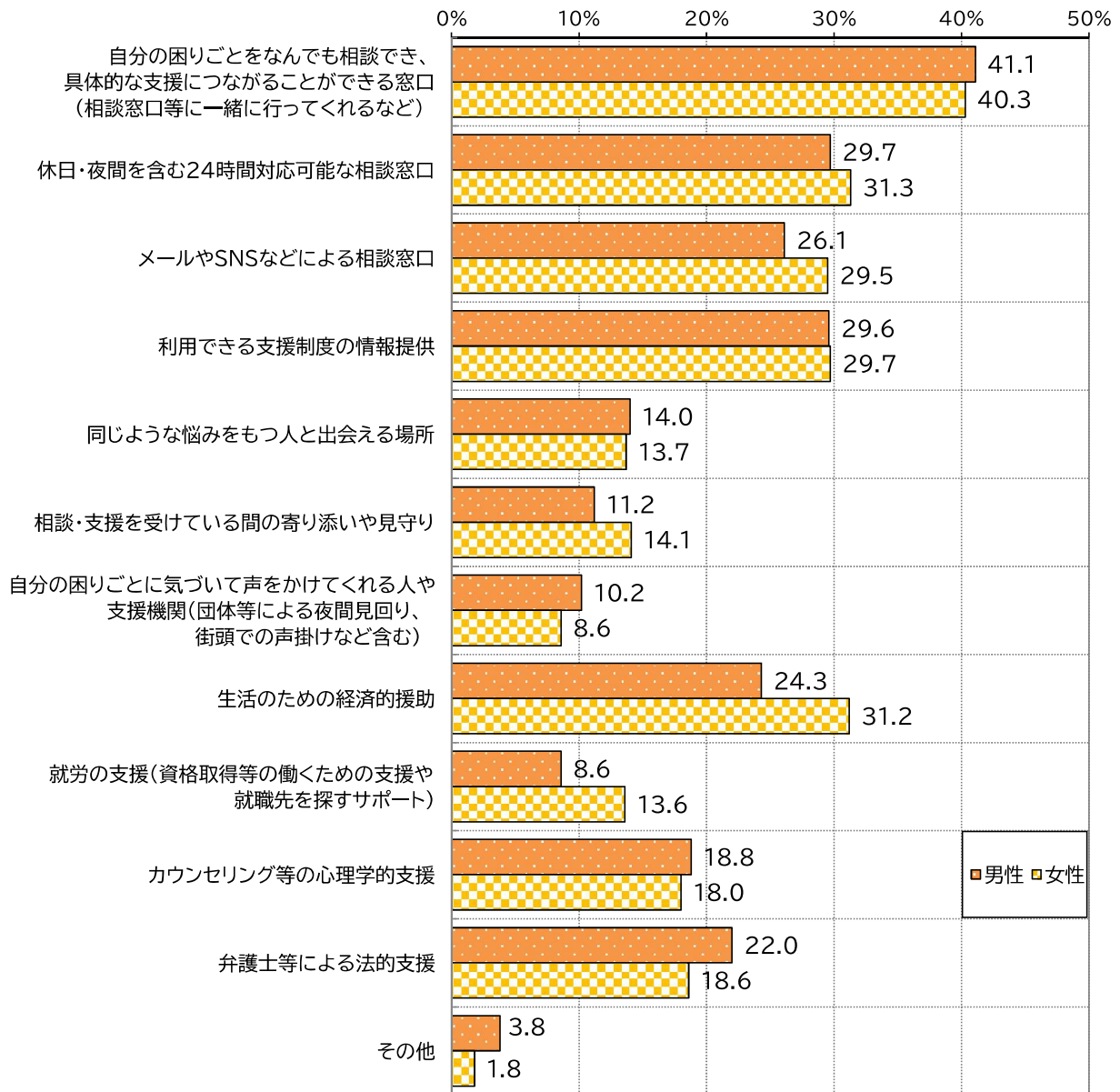
年代別でみると、60～70歳代は「思わない」と回答した者の割合が最も高く、その他の年代は「わからない」が最も高くなっている。

困難経験別でみると、困難な問題を経験したり、見聞きしたことがある人は「思わない」（54.9％）と回答した者の割合が最も高く、困難な問題を経験したり、見聞きしたことがない人は「わからない」（56.6％）が最も高くなっている。

(5) 女性であることを理由とした困難な問題を解決するために必要な支援や環境 (問10)

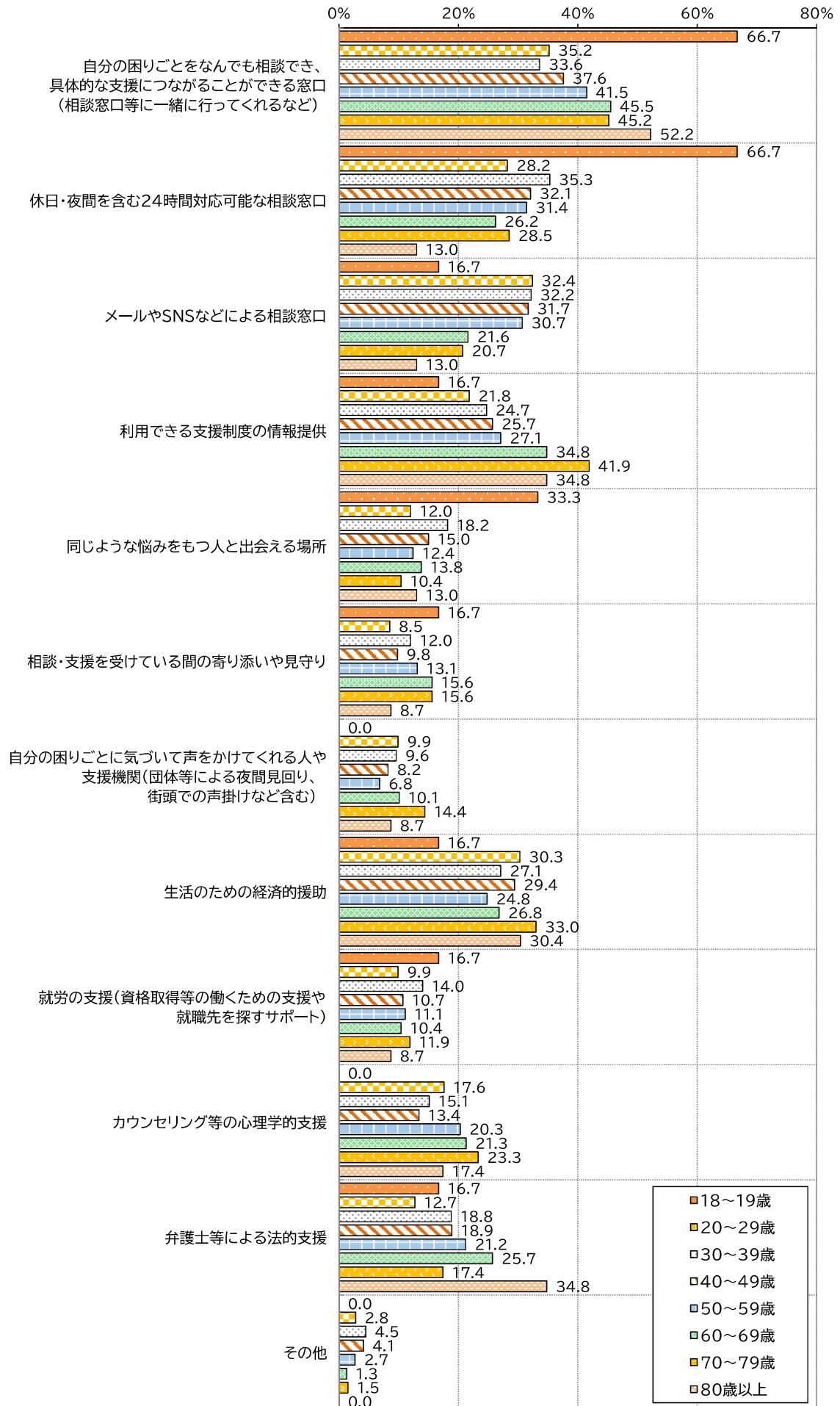
問10 問6のような困難な問題を解決するために、どのような支援や環境があればよいと思いますか。当てはまるもの三つまで選んでください。※すでに困難な問題が解決している方は、解決する前の状況としてお答えください。

図表10-1 女性であることを理由とした困難な問題を解決するために必要な支援や環境
(性別) (N=男性 939 女性 1,039)



困難な問題を解決するために必要な支援や環境については、性別で見ると、男性・女性ともに「自分の困りごとをなんでも相談でき、具体的な支援につながるができる窓口」(男性41.1%、女性40.3%)と回答した者の割合が最も高く、次いで、男性・女性ともに「休日・夜間を含む24時間対応可能な相談窓口」の順になっている。

図表10-2 女性であることを理由とした困難な問題を解決するために必要な支援や環境
(N=2,000) (年代別)



年代別でみると、20 歳代、40 歳代以上は「自分の困りごとをなんでも相談でき、具体的な支援につながるができる窓口」と回答した者の割合が最も高く、18～19 歳は「自分の困りごとをなんでも相談でき、具体的な支援につながるができる窓口」、「休日・夜間を含む 24 時間対応可能な相談窓口」（同率で 66.7%）、30 歳代は「休日・夜間を含む 24 時間対応可能な相談窓口」（35.3%）がそれぞれ高くなっている。